

ネクサバール治療を行う患者さんとそのご家族へ

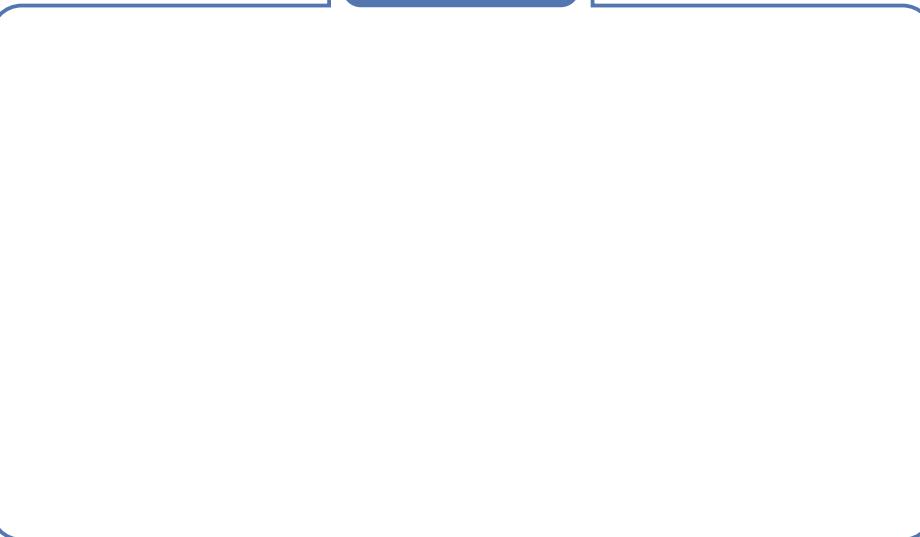
— 手足症候群の予防と対処 —

監修：昭和大学医学部 皮膚科 教授 飯島 正文 先生



- 本映像プログラムは
(<https://pharma-navi.bayer.jp/nexavar/patient/>)
にてご視聴いただけます。

連絡先



ネクサバール患者さんとご家族の方向け情報サイト(<https://pharma-navi.bayer.jp/nexavar/patient>)をご参照ください。



Bayer

資料請求先

バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
<http://byl.bayer.co.jp/>

2019年10月作成
資料番号
NEX190901



ネクサバール治療を行う患者さんとそのご家族へ 手足症候群の予防と対処



映像プログラムと合わせてご覧ください。

監修：昭和大学医学部 皮膚科 教授 飯島 正文 先生

手足症候群とは

ネクサバールを服用すると、手足症候群と呼ばれる副作用があらわれることが報告されています。

手足症候群は、いのちに関わる副作用ではありませんが、まれに日常生活に支障をきたすこともあります。場合によってはネクサバール治療を続けることが困難になることがあります。

しかし、予防対策を継続したり、適切な処置を行うことでネクサバールの治療を続けることができます。



手足症候群があらわれやすい時期

手足症候群があらわれやすい時期は、ネクサバールの服用を開始してから1~2週間です。



あらわれやすいのは
飲み始めから
1~2週間!

手足の違和感がサインです

手のひらや足の裏にチクチク感、ヒリヒリ感といった皮膚の違和感、ほてり感、赤く腫れる、角質が厚くなるなど、**患者さん自身が感じる違和感が手足症候群のサイン**になります。

初期症状～軽度



手足の痛みはありません。
チクチク、ヒリヒリ感、ほてりや赤く腫れる、むくむなど、皮膚に違和感を感じます。



中等度



手足に痛みを伴います。
食事の準備や買い物、電話の使用やお金の管理など、日常生活の動作が制限されます。



重度



手足に痛みを伴います。
食事の準備や買い物、電話の使用やお金の管理だけでなく、入浴や着替え、食事やトイレなど、身の回りの生活の動作が制限されます。

バイエル薬品：ネクサバール®の手足症候群がよくわかるQ&A集

ネクサバールの服用開始から2カ月間は、手足

の違和感を慎重にチェックすることが重要です！

POINT 1

しっかりと保湿しましょう!

- 手を洗った時、入浴後はすぐに保湿クリームを塗る。
- 保湿クリームは1回に5~6cm使用する。



- 保湿クリームは指の間まできちんとやさしく塗り込む。
- 手足を洗った時以外にも、1日数回保湿クリームを塗る。

保湿クリームを塗った後は、手袋・靴下をつける。
夜間の乾燥を防ぐため、寝る時には保湿クリームを塗り、
手袋・靴下をつけて休む。



- 手足を洗う場所には、すぐ目につくところに保湿クリームを置いておきましょう。
- 寒い時期は、保湿クリームが硬くなることがあるので、両手で温めて柔らかくしてから塗りましょう。
- 市販の保湿クリームも使用できます。詳しくは、医師・看護師・薬剤師にご相談ください。

POINT 2

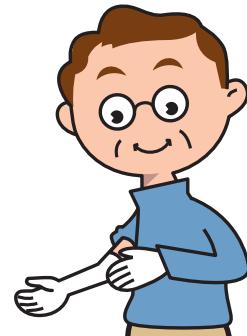
皮膚に刺激を与えないようにしましょう!

- 皮膚を傷つけるので、軽石やかみそりは使わない。
- 皮膚を柔らかくする場合は、尿素やサリチル酸配合の保湿クリームを使用する。
- 水を使う時は、保湿クリームを塗り、木綿とゴムの手袋を二重につけるなど十分に保護する。



- 庭仕事などの作業が終わったら、手足をきれいに洗い、手足のチェックをしながら保湿クリームを塗る。

- 入浴やシャワーは、ぬるめのお湯を使う。
(温度は40°C以下、時間は10分以内が目安)



- 硬くなった皮膚やタコ・イボの処理はご自身の判断で行わず必ず、医師・看護師・薬剤師に相談しましょう。
- 汗をかきやすい季節は皮膚を清潔に保ち、手足を洗ったり、シャワーを浴びた後に保湿クリームを塗るように心掛けましょう。

しっかりと手足症候群の予防対策をするとこ

とで、ネクサバールの治療が続けられます!

POINT 3 圧をかけないようにしましょう!

- 外出時には、できるだけ圧迫の少ないサンダルや運動靴を履く。
- やむを得ず革靴やハイヒールを履く時は、柔らかい中敷(インナーソール)を使用する。



- 長時間の歩行やジョギングなどは足に負担をかけるので避ける。



「手足症候群かな?」と感じることがあつた場合は、すぐに医師に伝えましょう!

POINT 4 手足の変化に注意しましょう!

- ペンや箸が当たる部分、かかとなどは、角質化を起こしやすいのでよくチェックする。



- 気になることがあれば、チェックシートや服用ダイアリーに記入し、医師に伝えましょう。

